

**周年親子放牧展開における課題**

**2) 異業種参入による耕作放棄地等の  
借地放牧による繁殖経営**

岡山県新見市 (株)いろりカンパニー取締役社長

井石和美

## 異業種参入による耕作放棄地等の借地放牧による繁殖経営



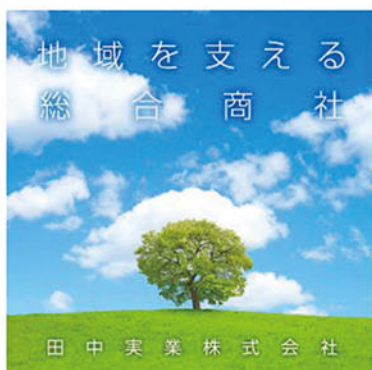
令和1年10月16日

株式会社いろりカンパニー  
井石 和美

## 田中実業グループ概要



**TANAKA  
JITSUGYO**



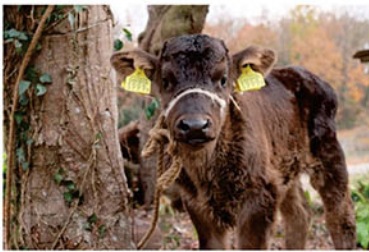
### 会社概要

会社名	田中実業 株式会社
所在地	〒718-0013 岡山県 新見市 正田 270 【TEL】 0867-72-8555 【FAX】 0867-72-5828
創業	昭和6年5月
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役社長 田中康信
従業員数	社員数 90人 (平成30年12月現在)
事業内容	石油製品・潤滑油、ホームライフ事業、カーライフ事業、保険事業
取引銀行	中国銀行 備北信用金庫 日本政策金融公庫
主要取引先	出光興産株式会社 アストモスエネルギー株式会社 太平洋セメント株式会社
売上高	平成30年6月期 実績 37億円
URL	<a href="http://www.tanaka-jitsugyo.co.jp/">www.tanaka-jitsugyo.co.jp/</a>
関連会社	新見レミコン株式会社、有限会社新見建築設計、 株式会社マルクプロパン、株式会社山本プロパン、 株式会社タウンハウス、株式会社いろりカンパニー

当社は昭和6年5月小野田セメント株式会社新見工場の操業開始に伴いセメントの販売を行うことに始まり、その後、石油類・LPガス等の販売を開始し、地域経済の発展に即応した体制を確立し取引先各位共々に成長発展を図るため、日々努力を続けています。



## 私たちは農業を通じて地域の活性化に取り組んでいます。



株式会社いろりカンパニーは、田中実業グループの農業部門を担う会社として平成28年6月に設立しました。

黒毛和種の地域ブランド・千屋牛の生産を柱に事業を展開しており、現在、新見市法曾熊野に13ha、新見市千屋花見に22haの土地を借入し、親子周年放牧で91頭の繁殖親子を飼養しています。

地域産業として不可欠な農業分野で、新見市が全国に誇れる新しい価値（竹の谷蔓牛の保存と活用）を創造し、限界集落問題・耕作放棄地・荒廃する山林・害獣問題・人口減少問題の解消に「和牛の親子放牧」で取り組むことで、地域の活性化に貢献していきます。

## 異業種参入のきっかけ

岡山県阿哲郡新郷村釜村（現新見市）は、古くから労働力として牛が飼われており、1800年頃より蔓牛と言われる「良系統」の蔓が創生され、竹の谷蔓牛として高名を馳せていました。現在の新見市も地元産業として「畜産業」をあげていますが、現状は高齢化、後継ぎ不足による廃業・子牛価格の低迷などによる畜産離れがすすみ衰退の一途を辿り、千屋牛の生産頭数が激減していることを知り、企業として出来ることは何かと考えました。

昔の農家は田畑を持って役牛を飼い、必要な餌と堆肥を賄っていました。それと同じく、近隣の稲作農家に糞をもらい堆肥を渡し、協力しながら若手農業従事者も育てたい。土地に根差した農業を循環させて地元を活性化させ、自立可能な産業構造に戻す必要があると考えたからです。



株式会社いろりカンパニー

### 会社概要



所在地 〒718-0013 新見市正田270  
 創業 平成28年6月  
 代表者 代表取締役会長 田中康信  
 取締役社長 井石和美  
 電話番号 0867-72-8555  
 FAX番号 0867-72-5828  
 事業内容 千屋牛の生産、ケールの栽培

## 事業概要-1

- ◆離農家の牛舎、設備・耕作放棄地・放置山林・空き家を利用した放牧畜産
  - 地域が抱える問題「人口減少、高齢化、山間部集落の消滅、荒れていく景観、害獣問題」の解消
  - 古くから牛の産地でもある地域産業を守り、地元系統牛の保存に努める
- ◆和牛繁殖農家として子牛販売からスタート
  - 母牛に哺育をしてもらい一緒に放牧（親子周年放牧）
  - 千屋牛（新見市ブランド）及び竹の谷蔓牛（平田五美氏）の飼育（マーケットコンテンツの拡大）
  - 離農家の受け皿になり、経産牛の肥育も行う（経産牛肉の価値の再認識とマーケットの拡大）
  - 付加価値の最大化を目指し、地元にお金が循環する仕組みを作る（地域に人とお金の流れを作る）
- ◆借入施設・土地
  - 新見市神郷高瀬地区
    - 畑（約1ha）…原野状態
  - 新見市法曾地区
    - 古民家…1棟
    - 離農牛舎…牛房3室・繋ぎ4頭1室
    - 付属堆肥舎…1個
    - 放牧地…耕作放棄地・原野・山林など（約13ha）
  - 新見市千屋実地区
    - 離農牛舎・付属機械…1軒（9頭・分娩室3室・飼料保管場所）
    - 放牧地…畑、田、山林（約90a）



## 事業概要-2

- ◆指定管理
  - 花見公共牧場……新見市千屋井原 平成30年4月より5年間
  - ・放牧型牛舎 ・繁殖牛舎 ・堆肥舎2棟 ・放牧用林地（山林）22.51ha
  - ・ホイルローダ 1台 ・格納庫
- ◆投資設備
  - 放牧用資材、放牧地内給水設備
  - 借入牛舎への水道、ガス、電気設備
  - スタンション牛舎1号（4頭用スタンション8枚、7頭用スタンション2枚） 平成29年度事業
  - 分娩牛舎（5室）（トマト離農家ハウス利用）
  - 牛温恵・養牛カメラ・保育機
  - 宿直、監視棟の設置及び修繕
  - スタンション牛舎2号（4頭用スタンション4枚、7頭用スタンション4枚） 平成30年度事業
  - 堆肥舎建設予定 令和1年度事業
- ◆投資機器、車両
  - フォークリフト2台 ○ホイルローダ1台
  - ミルメーカー1台 ○クローラードンプ1台
  - 軽ダンプ1台 ○2tダンプ1台
  - 軽トラ2台 ○牛運搬車1台
- ◆その他
  - コンテナハウス2棟 ○カウハッチ など



# 沿革

	業務内容及び野原フィールド	くまのファーム	花見公共牧場	千屋牧場
平成28年3月 4月 6月	借地(畑)1ha 地主1名 起耕を開始 ケール栽培(80a)始動 株式会社いろりカンパニー設立 (農地所有適格法人)			
平成29年1月 2月 5月 7月 9月 10月 11月	全農おかやま総合家畜市場 4頭購入 井倉公共牧場へ預託 ケール栽培(80a) 社員2名採用 預託牛12頭となる 農業経営改善計画認定	牛舎・土地の借入交渉 牧場整備開始、柵の設置及び研修 借地契約締結(6名) 1頭三上牛舎(借家)へ移動  借地契約締結(3名)		
平成30年1月 3月 4月 7月 ~ 11月 12月	社員1名採用1名異動 ケール栽培(80a)	1号牛舎完成(親牛32頭子牛14頭) 育成牛23頭繁殖妊娠牛2頭を飼養開始 借地契約締結(4名) 分娩牛舎完成(離農トマト農家ハウス使用)  放牧地の整備~播種  1頭(去勢)初出荷 借地契約締結(1名) 飼養頭数(繁殖36頭、育成17頭 人工哺育3頭、預託1頭(検定牛))	指定管理となる(新見市)    飼養頭数(繁殖11頭、哺育1頭 肥育2頭)	
平成31年2月 3月 令和 1年7月 9月	ケール栽培(50a)	2号牛舎完成(繁殖16頭子牛28頭) 牧区分け完成、放牧開始  飼養頭数(繁殖39頭 子牛27頭 預託1頭)	飼養頭数(繁殖6頭 子牛3頭 肥育5頭 雄牛1頭)	離農家牛舎及び放牧地借入(1名) 妊娠牛7頭移動 飼養頭数(妊娠牛7頭)

## 分娩房からの放牧風景



# 販売実績と市場価格

販売実績											(税別)	
NO	販売日	名前	生年月日	日齢	産次	父	祖父	曾祖父	曾曾祖父	体重(kg)	価格	単価/KG
1	H3011.9	色理	H301.22	291	8	藤沢茂	花栗郎2	福栄	本郷7の8	313	708,000	¥2,282
2	H3012.14	あつひめ	H303.19	270	1	久茂福	新初英	安茂勝	利花	268	695,000	¥2,593
3	H3012.14	おいち	H303.25	264	11	平金晴	美津福	山守	235	492,000	¥2,094	
4	H3012.14	苜蓿	H303.26	263	1	光平宗	平金晴	本郷7の8	統次郎	295	707,000	¥2,397
5	H31.1.18	ひみこ	H304.27	266	1	光平宗	藤次郎	安平	福栄	254	664,000	¥2,614
6	H31.1.18	こまち	H304.29	264	5	藤沢茂	百合茂	安平照	菊安	263	617,000	¥2,346
7	H31.1.18	清盛	H305.5	258	9	美津百合	平茂勝	本郷7の8	統次郎	253	704,000	¥2,783
8	H31.1.18	武蔵	H305.14	249	1	光平宗	第一花根	百合茂	福栄	276	741,000	¥2,685
9	H31.3.8	利家	H306.2	279	1	茂晴花	直次郎	福栄	平茂勝	312	777,000	¥2,490
10	H31.3.8	隆盛	H306.5	276	1	光平宗	沢茂勝	茂勝栄	美津福	292	760,000	¥2,603
11	H31.4.19	豊姫68の4	H307.2	291	4	秋忠平	安福久	平茂勝	統次郎	293	817,000	¥2,788
12	H31.4.19	まつ	H306.3	320	1	光平宗	美津富家	百合茂	安平照	259	634,000	¥2,448
13	H31.4.19	信玄	H307.3	290	5	藤沢茂	千代板	平茂勝	菊安土井	287	763,000	¥2,659
14	R1.6.7	森村	H309.29	251	1	光平宗	美国根	平茂勝	本郷7の8	257	709,000	¥2,759
15	R1.6.7	清麻呂	H309.21	259	1	光平宗	藤沢茂	安福久	平茂勝	256	682,000	¥2,664
16	R1.7.12	官兵衛	H3010.10	275	1	久茂福	藤次郎	福栄	本郷7の8	280	703,000	¥2,511
17	R1.7.12	慶之介	H3011.15	239	8	新初英	北盛	西丸	平田	283	692,000	¥2,445



岡山市場情報 (税別)										
去勢	入場頭数	売買頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	平均日齢	日令増付	Kg単価	
H3010.5	168	166	914,000	501,000	711,078	285	263	1.063	2,696	
H3011.9	144	142	880,000	366,000	700,327	291	261	1.115	2,597	
H3012.14	173	172	933,000	272,000	727,653	295	264	1.115	2,667	
H31.1.18	150	150	943,000	178,000	736,304	285	256	1.110	2,795	
H31.3.8	183	181	1,041,000	20,000	763,929	296	267	1.110	2,787	
H31.4.19	198	197	917,000	300,000	757,718	299	268	1.117	2,733	
R1.6.7	166	166	920,000	535,000	698,844	282	274	1.065	2,587	
R1.7.12	150	150	821,000	417,000	704,027	296	265	1.119	2,568	
雌	入場頭数	売買頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	平均日齢	日令増付	Kg単価	
H3010.5	92	90	1,204,000	476,000	651,032	266	271	0.982	2,647	
H3011.9	99	97	989,000	222,000	617,505	267	271	0.988	2,494	
H3012.14	125	122	832,000	327,000	591,408	267	269	0.992	2,391	
H31.1.18	105	105	1,225,000	296,000	634,361	265	272	0.977	2,583	
H31.3.8	132	131	1,176,000	133,000	657,523	270	274	0.986	2,629	
H31.4.19	140	139	1,412,000	192,000	628,164	271	274	0.987	2,505	
R1.6.7	119	119	1,632,000	425,000	655,530	280	279	1.003	2,529	
R1.7.12	114	114	1,330,000	97,000	633,745	275	270	1.017	2,491	

# 空き牛舎と耕作放棄地を借入

友人との立ち話で始まった  
ハラジリ物語



グループ会社社員総出の作業



# 熊野原尻地区からのスタート

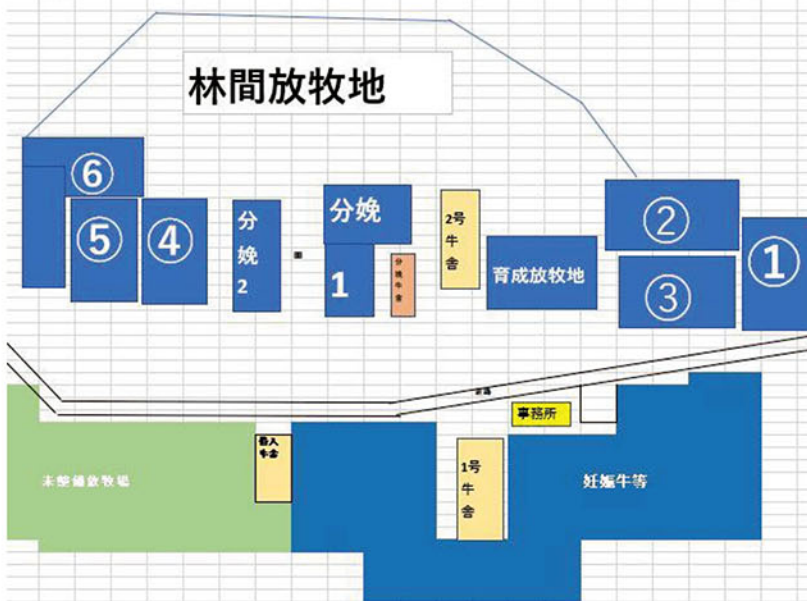
## ◆意識の高い地域の人達との出会い（奇跡）

- ◆昔から牛を飼っている地域だった（牛に対する感覚の柔軟性）
- ◆喜んでくれる地区の人々
- ◆集落が隔離された立地
- ◆住宅が少なく協働意識が高い
- ◆水のない地域で、水田が少ない
- ◆土地の保全が厳しくなって来た時期だった
- ◆危機意識のレベルが高い

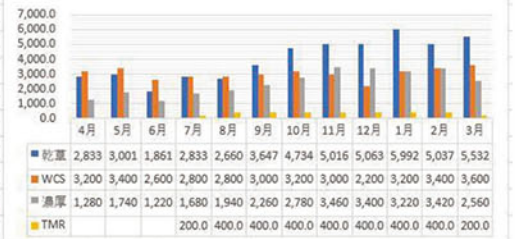


# 牧区と月別飼料量

くまのファーム  
牧区



平成30年度月別飼料量



令和1年度月別飼料量



## 放棄地化した公共牧場



## 公共牧場の有効活用を目指して

- ◆20頭(繁殖・育成・哺育・経産牛肥育・雄牛)  
○導入したいけど出来ない(施設・設備)
- ◆哺育ハッチ 9個作成、ミルメーカー購入
- ◆風除け・給水設備の設置(豪雪地帯対策)
- ◆放牧場の整備不良(育成の放牧は厳しい)
- ◆白血対策用ネット、雄用牛舎の設置



### 繁殖肥育一貫牧場

- ◆肥育牛舎(200頭～ )
- ◆1年通して飼養出来る施設 (豪雪にも耐えられる)
- ◆放牧地の整備(木の伐採・撤去・整地・牧草播種など)
- ◆借腹・育児放棄子牛用の哺育牛舎施設
- ◆給水設備の改善
- ◆社員用上水道の設置
- ◆放牧柵の整備
- ◆IT設備
- ◆精液採取施設





## 放牧飼養の取組・課題-1

### ◆親牛について

- 害虫駆除薬の滴下
- 予防接種・白血検査(毎年全頭および導入時)
- できれば自家産  $\longrightarrow$  放牧開始時のダメージ
- 離農家から導入した牛は放牧、群飼いが難しい
- 野鳥・特にカラス対策
- 離乳(3か月)実施
- 放牧のストレス(季節、気候、虫)外的要因  
 $\longrightarrow$  X年間の時期別、栄養の基本必要量を出したい)
- 親子周年放牧に向く個体の選別  $\longrightarrow$  X分娩、乳量、哺育、性格、放牧適応など)

### ◆放牧地について

- 水はけの問題と排水設備の設置必要
- 動線の汚泥化対策 (餌場周り)
- 牧草の選別、放牧地サイクルの完成
- 匂い、ハエなどの対策に「糞虫」や「青色ライト」
- 整備に重機は絶対条件

### ◆作業効率について……飼養しやすい牛群

- 社員個々の能力の影響
- 牛舎作業よりも放牧地管理の方が人手は確保しやすいか
- 精神的ストレス(解らない事について)と体力的ストレス
- 飛び地の畑も管理して欲しい (作業が増える)



## 放牧飼養の取組・課題-2

### ◆生産子牛について

- 離乳(3か月)した育成牛(4~9か月)の飼養方法
- 放牧だから成長が良くない(DG1.0止り)
- 子牛の基礎体力はどうか 病気になる度合いは
- 現在の評価では自家保留・自家肥育した方が良いか

### ◆その他

- 飼養方法と増体率と個体の能力はどうか
- 子牛価格は体重評価(DG)及び系統
- 現在の規格、評価、価値観に合わせる必要は
- 放牧牛の良い点
- 老廃と言う名称の違和感 (食育の観点)
- 白血牛の経営に及ぼす影響
- 発酵飼料(酵母菌)の効果
- 放牧地の造成、整備、柵設置、管理費用
- 経理システムの必要性
- リスクマネジメントマニュアル(飼養、放牧、作業)
- 労働環境、安全管理、安全教育の経済効果



# 千屋牧場を新たに借入

～歴史ある産地だからこそその  
プライドを賭けた挑戦～

今年の1月、雪の残る日に1本の電話がありました。  
千屋で長年牛を飼っている農家さんです。

「牛を買ってくれないか？ 具合が悪くて牛を飼えない。  
今日の午後から病院へ行くんじゃ！」

なぜ、弊社に連絡があったのか…。  
ひと月前の一般市場に出された牛を購入したからです。



# 持続可能な農業・持続可能な地方地域

牛を飼うんです！！ 「えーことを始めちゃったなあ～」

産業の少ない地方にあるのは、田 畑 山林 それらがあれば放牧は始められます！  
和牛放牧！ 地方に働く場所を作るとい事。

#集落丸ごと放牧リゾート  
○レストラン・店舗・イベント・研修会等

人の動き・賑やかに

付加価値の  
最大化

## #ハラジリ

放牧で耕作放棄地を蘇らせるプロジェクト

## 情報発信

人の物理的・感情的動き

## #慈味牛

竹の谷蔓牛・放牧牛の精肉販売

売り

## #日本家屋集落を活用した地域コミュニティの活性化

人づくり

## #古民家・住宅を活用した民泊・農業体験の事業化

儲かる仕組み作り

#持続可能な地域コミュニティ活動の創出

愉快地に暮らす



## 千屋牛 (ちやうし) の昔の暮らし



写真提供: 峠田一也氏



## 明治 大正 昭和初期の風景

労働力として大切にされていた和牛

当時の千屋



写真提供: 峠田一也氏



# 竹の谷の近くに現存する蔓牛

生産者：平田五美氏



竹模723 H30.10.4生  
父：真模1 母：たけまき7の2



おおやす3733 H30.12.16生



## 竹の谷蔓牛 たけまき8の1 (体高120 体重390)

羽部義孝博士著「蔓の造成とつる牛」  
改訂復刻版より抜粋

### その2 竹の谷蔓

竹の谷蔓は岡山県阿智郡新郷村において創成せられたもので、同地方では今日尚本系統に属するものが多く繁栄している蔓である。加うるに本蔓は隣県たる鳥取県日野郡に広がり、更に鳥根県仁多郡にも入り、あるいは恐らくは広島県にも入りたるならんと、推察せらるる古来まことに有名なる古蔓である。本蔓の創成せられたる地は、岡山県阿智郡新郷村字釜小字竹の谷なるをもって、一般にこれを竹の谷蔓ととなえ、その系統の牛を竹の谷牛といっている。



## 和牛を放牧で飼う意味

- ◆地元産業(昔からの産地)を守るため
- ◆仕事を作るため(働く場所のない地方)
- ◆和牛という日本の宝を守るため
- ◆和牛生産という産業を守るため
- ◆荒廃していく日本の国土を未来に繋ぐため
- ◆景観を守るため
- ◆害獣から守るため
- ◆和牛を増やすため
- ◆和牛肉を食べるため
- ◆和牛の自然な姿を知って貰うため
- ◆和牛の一生を知って貰うため
- ◆収入を得るため
- ◆労働力としての放牧和牛の再認識



春



夏





放牧和牛は、国土を美しく(害獣からも)守るための労働力として認識し、肉牛としての和牛とは異なる新しい価値を、確立して行かなければならないのではないのでしょうか。

おわりに



\* 動画

畜産研究部門 令1-3 資料

## 放牧活用型畜産に関する情報交換会 2019

編集・発行 農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）

畜産研究部門 畜産飼料作研究拠点

山本嘉人・井出保行・中尾誠司・中神弘詞

〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松 768

TEL：0287-36-0111（代） FAX：0287-36-6629

発行日 令和元年10月16日

印刷 近代工房

〒324-0036 栃木県大田原市下石上 1603